

1年1組 国語科学習指導案 授業者

単元名	「やくそく」	単元の目標	①場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えることができる。 ②語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。 ③文の中における主語と述語の関係に気づくことができる。 ④場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。
-----	--------	-------	---

単元計画

次	時	単元計画
1	1	【問いをもつ】 【解決するための見通しをもつ】 範読を聞き、物語の大体を捉える。 ゴールを設定し、学習計画を立てる。
2	2	【取り組む】 物語の設定を読み取る。第1場面を読み取る。
	3	第2場面を読み取る。 「よい音読のしかた」について考える。
	4	第3場面前半を読み取る。
	5	第3場面後半を読み取る。
3	6	音読発表でしたい役を決める。 音読台本の使い方を知る。
	7	グループで音読練習をする。（本時）
	8	グループでリハーサルを行い、学級で見合う。アドバイスをもらって、よりよくする。
	9	【振り返る】 【新たな問い】 音読発表を行う。（1年2組が見る。） 視点を明確にして振り返る。 友達のよいところを見つける。 自分の音読を振り返り、次がんばりたいことを考える。

学習サイクル

問いをもつ
(第1時)

解決するための見通しをもつ
(第1時)

取り組む
(第2～8時)

振り返る
(第9時)

新たな問い
(第9時)

教師の手立て

① ゴールの設定・導入の工夫
・音読発表を1年生の他のクラスと互に見合い、よいところを見つけるゴールの設定をし、発表の意欲を高める。

②知識の想定（内容）
【1年国語】「はなのみち」「おおきなかぶ」
語のまとまりに気をつけて音読練習をしてから、音読発表をする。

③知識の想定（解決方法）
【1年国語】「はなのみち」
物語の大体を捉えることができるように、場面絵を並べて確認する。
【1年国語】「ぶんをつくろう」「つばみ」等
文の中における主語と述語の関係を確認して読む。
【1年国語】「おおきなかぶ」
語彙に注目したり、動作化することで、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像する。

④子供が選択した方法で解決する場の設定
・自分が選んだ場面の役で発表できるようにして意欲を高める。
・グループを組んで音読練習をし、互いに相談できるようにする。
・今までの読み取りの掲示することで、いつでも見て音読発表に生かせるようにする。
・台本（学習シート）に書きこみすることで、いつでも見て確認できるようにする。
・読み取りで使用した「よい音読のしかた」を常時掲示して、音読の仕方に生かせるようにする。

⑤子供が自分の学習を振り返る場の設定
掲示している「よい音読の仕方」を確認することで、振り返りのポイントを明確にする。

⑥新たな問いを解決する場の設定
掲示している「よい音読の仕方」に沿って振り返ることで、自分の成果や課題に気付き、次回の発表に生かそうとする意欲を高める。

本時の展開

(7時間目/9時間)

(1) 本時の目標
登場人物の気持ちや場面の様子がよく分かるように、声の出し方や読み方を工夫して音読練習をする。(思考・判断・表現)

(2) 本時の展開

学習過程	○学習活動 C:予想される児童の反応	・教師の手立て ◆ 評価【観点】(方法)
取り組む	○めあてを確認する。 おんどくはっぴょうの れんしゅうをしよう。	・本単元の目的（他の学級の友達に見てもらう）について押さえる。
	○「よい音読の仕方」を想起する。 ・あいてのほうをみてはなす。 ・みているひとに、きこえるようにはなす。 ・やくのきもちが つたわるように、はなしかたをくふうする。 ・ことばのまとまりに きをつけてはなす。 ・はずかしがらないで はっぴょうする。	・第1時で立てた学習計画をもとに、本時のめあてを確認させる。 ・「よい音読の仕方」を掲示して想起させるとともに、いつでも見て確認できるようにする。
	○グループに分かれて練習をする。 あおむし1 あおむし2 あおむし3 大きな木 ナレーター（自分で選択した役を担当する。） 机を班の形にし、音読の記号や考えたことを学習シートに書いて、声に出してみる。 C：役の気持ちが伝わるように、けんかしているところは、大きい声で読みたいな。 C：「なんだろう」のところは、不思議そうに読みたい。 C：大きな木の台詞は、ゆっくり大きく言いたい。	・物語の読み取りのシートを拡大し、いつでも見られるようにする。 ・グループの友達と相談してもよいことを伝える。
	学習シートに書けた班から、机の近くで立って音読をする。音読ができたら動きを付ける。グループの友達と相談してもよい。 C：相手のほうを見て話すと、本物みたいに見えるかな。 C：何度も練習して、まとまりに気をつけてすらすらと読みたい。 ○今日の学習を振り返る。 本日の学習でできるようになったことを確認し、学習計画を見て、次にすることを確認する。	・読み方に迷っている児童には、読み取りを想起させ、どのように読めばよいか考えさせる。 ・「よい音読の仕方」の掲示を示し、どれができたかを振り返らせる。
		◆【思・判・表】(観察・学習シート)